学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 商業科

科目名 ：	ビジネス基礎	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 4 回
使用教科書 ：ビジネス基礎 新訂版 （実教出版）			
学習書 ・副読本 ：ビジネス基礎 新訂版 問題集 （実況出版）			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	12 回	4 回	4 回	4 回
テスト [T]	2 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）	教養基礎科目ではなく専門科目です。図書やウェブなどでの調べ学習も必要です。			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・ビジネスに関する基礎知識を習得することにより、世の中の仕組みや経済活動を通じて企業の求める人材を育成することを目標とする。
・社会人としてのマナーも身につける。

2 学習の到達目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	・学習を通して経済社会の様々な事柄への興味関心を高め、それらを学ぶ意義に気づくことができる。 ・経済社会、ビジネスの基本的な事柄を知り、国内のみならず国際社会の形成者としての自覚をもって考える態度を身につける。	・経済社会、ビジネスの基本的な事柄について考察し、自分の考えを適切に表現できる。	・経済社会、ビジネスに関する基本的な事柄についての諸資料を効果的に学習の探求に活用することができる。	・国内経済、国際経済の仕組み、ビジネスマナーについて学び、社会の基本的な事柄についての知識を身につけ、それらを相互に関連付けながら理解できる。
評価方法	・記述の点検 （レポート）	・観察 （スクーリング） ・記述の点検 （レポート）	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	経済と流通の基礎	・経済の仕組みとビジネス ・ビジネスの担い手	○		○	○	a：経済の仕組みの基本的な事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b：経済の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c：流通の基本的な事柄についての資料を適切に読み取り、考察に活用することができる。 d：マーケティングの基本的な事柄について理解し、知識が身についている。	・ レポート ・スクーリング
2範囲	歴史的分野	・経済の仕組みとビジネス ・企業活動の基礎	○	○	○	○	a：ビジネスと企業の事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b：ビジネスを支える企業の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c：雇用の基本的な事柄についての資料を適切に読み取り、考察に活用することができる。 d：企業倫理を中心とした経済の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。	・ レポート(特に調べ学習) ・スクーリング
3範囲	公民的分野	・ビジネスと売買取引	○	○	○	○	a：売買取引の手順を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 b：代金決済の仕組み役割についての基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c：売買取引に関する計算の基礎ができる。 d：売買計算に関する計算の応用ができる。	・レポート ・スクーリング ・定期試験

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。